



地域を育み、
大陸をつなぐ

Weekly



・会 長 山田 直樹 ・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・幹 事 唐井 仁一 ・例会場 〒488-0801
 ・会 報 井田 武憲 尾張旭市東大道町原田 2570-3

・事務所 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : owariasahi@mtc.biglobe.ne.jp
 URL : http://www5b.biglobe.ne.jp/~owariasahi/

本 日 第1944回 2010年11月28日(日) No.1836

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング 「奉仕の理想」

創立40周年記念事業

「健康づくり」について考えよう！

講演：伊那食品工業(株)会長 塚越 寛様

健康都市推進室(WHO健康都市)

パネルディスカッション

前 回 第1943回 2010年11月19日(金) 記 録

齊 唄：「四つのテスト」

来訪者：瀬戸RC 加藤 一夫君

出席者：会員28名中20名 出席率71.42%

前々回補正出席率は11月5日100%

会長挨拶

山田 直樹

先週土曜日に、地元の愛知県立旭野高校ラグビー部が全国高校ラグビー選手権大会に愛知県代表として出場することが決定しました。その前日私と唐井幹事は来年1月のクラブ創立40周年記念式典へのご出席をお願いするために、旭野高校の吉川校長をお訪ねしまして、その折に校長先生より明日の決勝戦のはなしをお聞かせいただいておりますので、旭野高校の優勝が格別嬉しく胸に響きました。今年は記念大会ということで愛知県から2校出場だそうで、もう1校は私の住まいの近くにあります春日丘高校になったことも大変うれしいニュースです。両校の大活躍を祈りたいと思います。

さて今日は、最近気になっている自然環境と動物のお話をしたいと思います。気候温暖化、異常気象などで森林や山で暮らすクマやシカ、サルなどが人里において、人に危害を加えるというニュースが頻りに流れています。先日は瀬戸市片草町の山林で檻にかかったツキノワ熊を殺処分すると決めた行政地元住民と処分を阻止しようとする自然保護団体との間で対立し、結局話し合いは平行線のままだとなり、最後は射殺されたという記事を見ました。確かに今年は全国でクマが出没し、人間に危害を加える事件が多いようです。私が興味を持ちましたのは、さまざまな角度、視点からの議論があり、それぞれに一理あると思えるということです。例えば昔に比べると銃規制が厳しくなり、景気

がよくないことも関係し、免許を持つハンターの数が激減し、また高齢化した為、動物の駆除が充分に出来なくなってきたことが事件をふやしている要因の一つという意見を目にしました。7月の新聞記事では、森や畑を荒らすシカがふえているので捕食してもらうためにNPO法人日本オオカミ協会が百年前に絶滅したオオカミをシカ被害に悩む地域の理解を得たうえで中国やシベリアから10頭ほどの群れ単位で移入して、森に放して被害を食い止めるという案を提唱し、政府レベルでも検討をはじめたとありました。アメリカでもオオカミは絶滅しましたが、1990年代にオオカミをカナダより移入して復活に成功し、その結果シカに食い荒らされた水辺の木々が復活し森の多様性がよみがえったという例があるそうです。しかし日本では、オオカミを野にはなすということは、危険度からいってそう簡単にはみとめられないようです。しかしほかにこの問題を解決する有効な策がないということも困ったことです。現在日本では、こういった野生の動物の数がかなりのスピードで増えてきていることがいえるでしょう。これについては、熊谷達也という作家がのべているのですが、日本の山林森林が手入れされずに荒廃したことは、人間にとってはよくないが、動物にとっては暮らしやすい環境になりつつあるといえるのではないかと。近い将来日本列島は動物天国になっているかもしれないのです。このあたりのバランスについて考えてみてはいかがでしょうか。

幹事報告

・11/12 40周年事業 「健康づくり」について考えよう！の打合せ 於商工会館 市役所2名 山田会長

家族月間

	12月3日(金)	12月10日(金)	12月17日(金)	12月24日(金)
例会予定	年次総会 卓話担当者： 40周年実行委員会 「創立40周年記念式典の打ち合わせ」	卓話者：森 和実君、 松原 樹君、伊豆原浩二君 演題：「地区大会参加報告」	卓話者：古橋 裕志君 演 題：「美しい小さな郵(有)価証券」	移動例会 創立40周年記念行事 「健康都市宣言」塔 除幕式 於名鉄瀬戸線尾張旭駅前

以下8名出席。詳細は会報をご覧ください。

- ・11/16 尾張旭市社会協議会理事会 於健康福祉センター 山田会長出席。
- ・11/16 尾張旭市商工会 優良従業員表彰 於商工会館 山田会長出席。
- ・本日の会合：なし
- ・次回の例会：11/28(日) 「健康づくり」について考えよう！講演会 於名古屋産業大学
担当者 10時30分 RC会員 11時30分 食事
- ・例会変更のお知らせ：別紙。

ニコボックス

お世話になります。(瀬戸RC) **加藤 一夫君**
久し振りにフリーの立場でお話ができます。

大竹 薫君

大竹さんの卓話を楽しみにしています。

大野 良之君、勝屋 弘忠君

加藤 清久君、富田 晃君、福岡 健君

昨日のあんこうを食する会の残金です。

参加者全員

昨日はあんこうの会、楽しく参加させていただきました。本日はJ.Cの若者達と懇談します。

山田 直樹君

加藤勇夫さん、昨日のあんこう鍋、ごつそうさまでした。

加藤 清久君

加藤勇夫さん、昨日はお世話になりました。

唐井 仁一君

卓話

旭まつりと鉄砲(火縄銃)

大竹 薫



前月10月、市制40周年記念事業でさまざまなイベントが開催されました。当クラブも苗木の配布を雨の中、皆様方にはご苦労さまでした。後日10日に市民祭り会場で行われた県指定無形文化財・棒の手・馬の塔・警固は尾張旭市を代表する伝統行事です。秋のまつりには郷祭りと言合宿祭りがあります。今回は合宿祭りその由来や警固がだされる地区割りに深い関わりがある尾張旭市の成り立ちを取り上げたいと思います。

江戸時代からある合宿祭りなど行うとき市内は大きく五つの地区に分かれます。市内西部の印場地区、北部の大部分を占める新居地区、市内の中心から南にある稲葉地区、東南に位置する三郷地区にこれらは江戸時代からの村や、その後の市の歴史を反映した区分になっています。戦後生まれた本地ヶ原地区以外は江戸

時代の村々が合併によって現在の市ができています。地区の歴史的背形を見ますと印場村の良福寺には戦国時代の織田信長の次男で信雄の自筆の書状で寺の修復の古文書、山門は織田氏ゆかりの清洲城の裏門を移築したと伝えられています。新居村の開祖、水野又太郎良春(1374年)金峯山寺(奈良市吉野町)の修験者だった良春は南北朝元弘の乱の折に後醍醐天皇に味方して戦いましたがその後、故郷志段村(守山区)に帰りその南の地に移り田畑を開墾し新居村を築いた(尾張旭駅北に顕彰碑)はあります。

稲葉村は市の文化会館前にある毛受勝助家照の像があります。勝助は稲葉村に生まれ12才の頃から戦国武将、柴田勝家に仕えていました。長島の一向一揆の戦いに参加し、その後勝家と秀吉の賊ヶ岳の戦いで敗色の濃い主君の馬印を持って敵をひきつけ勝家を本拠地越前に落ち延びたさせた後、秀吉軍に敗れ亡くなりました。現在滋賀県余呉町に勝助家照の墓と顕彰碑が立っています。裏書を見ますと尾洲春日井郡稲葉村出身と書かれています。

東部の三郷は井田、瀬戸川、狩宿の各村に神社があり陶製の狛犬が奉納されており、その内狩宿白山神社の狛犬は背面の寛永4年(1751年)春日井郡狩宿村と奉納者が連名され41文字が鮮明であり焼成状態が良好であると市の有形文化財に指定されている。

尾張旭市の各地区にはそれぞれの古い歴史があることがわかります。

合宿祭り(郷社祭)は江戸時代から印場村、新居村、稲葉村は大森合宿として竜泉寺(守山区)に旧暦の9月18日に献馬を奉納してまた、昭和11年まで続けられた記録があります。市内東部に位置している井田、瀬戸川、狩宿村、(現三郷地区)は山口合宿として現在豊田市にある猿投神社に献馬した記述があり旧暦9月9日に行われていた。土地の古老の話によると昭和5~6年頃まで参加していたようです。

このように多くの神社が参加して竜泉寺、猿投神社に合宿して献馬・警固を奉納する祭りを合宿・合社祭りと言っています。郷祭りは毎年のように行われています、各神社の祭りは秋祭りとも言っています。合宿祭りは元来村々の豊作を感謝して祝うために5~6年に1回程度に行われたようです。

近年の郷祭りは地域住民の繁栄と安全・地域の発展を祈念しておこなわれるようになりました。

(社)尾張旭青年会議所の役員の方々と親睦交流会がありました。

日時 平成22年11月18日(金) 18:00~
場所 しんきち (尾張旭市大塚町)

